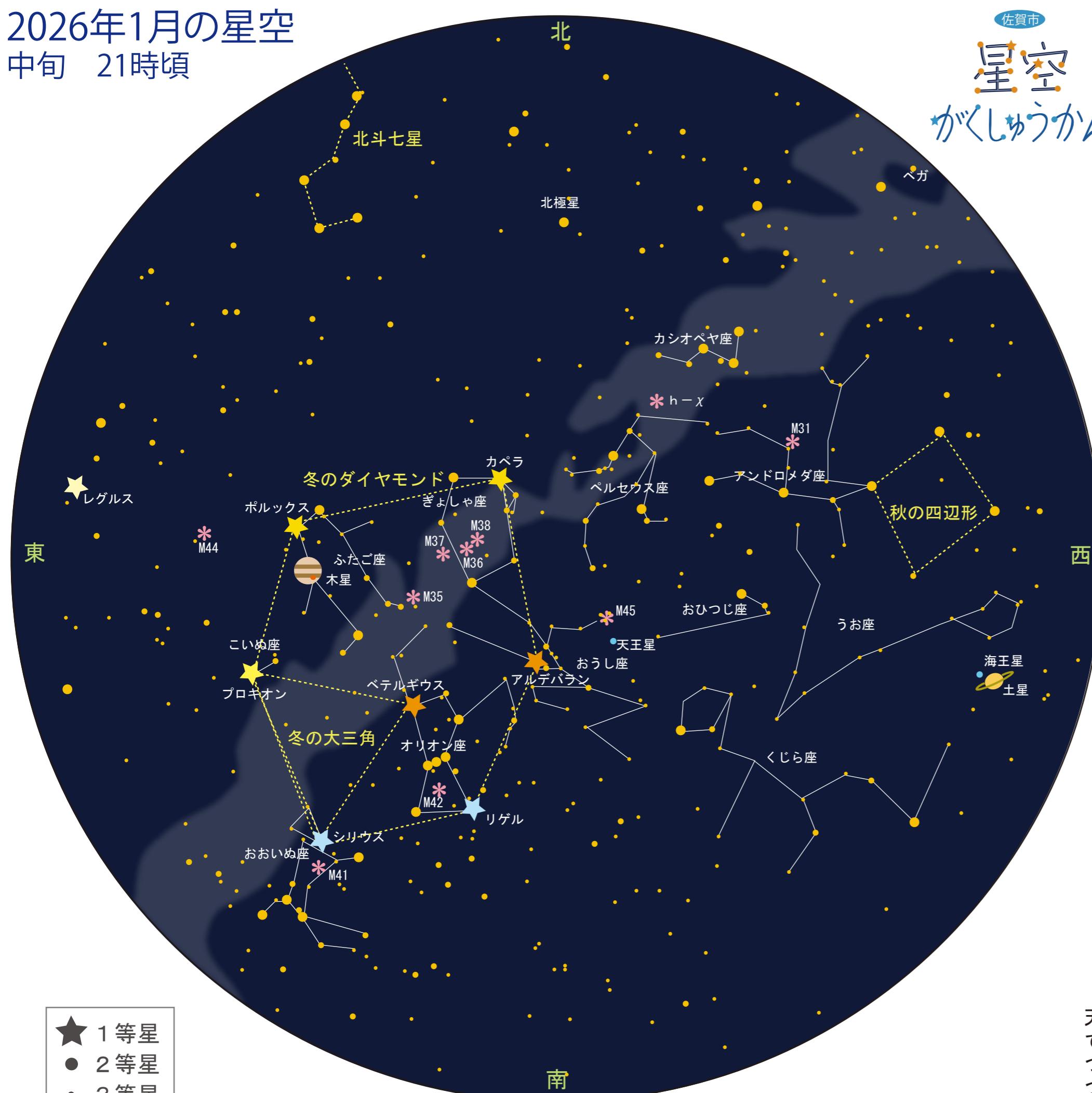


# 2026年1月の星空

中旬 21時頃



## 星空 がくしゅうかん

### ★ 今月の天文現象とこよみ

- 1日 元旦
- 3日 満月
- 4日 しぶんぎ座流星群極大
- 5日 小寒（しょうかん）
- 7日 レグルス食（九州北部以北）
- 10日 木星が衝となり観察好期
- 11日 下弦の月
- 12日 成人の日
- 17日 土用
- 19日 新月
- 20日 大寒（だいかん）
- 26日 上弦の月

太陽系最大の惑星である木星が、観察の好期を迎える東の空高く圧倒的な明るさで輝きます。2026年は、6月初めまで日没後の空で観察できます。

#### M45 すばる

おうし座の肩のあたりにある星団です。肉眼で6～7個の星が集まって見える場所です。双眼鏡、望遠鏡ではさらにたくさんの星が見える美しい星団です。

#### カペラ

ぎょしゃ座の一等星で、北東の空高くで、明るく輝いています。冬の星座たちの中で最初に顔を出す一等星です。

#### アルデバラン

おうし座の右目のところに位置する赤い色をした一等星です。周囲は、大型の散開星団ヒヤデスの星々でぎやかです。

#### 木星

おひつじ座で-2.5等の明るさで輝きます。望遠鏡では、4つのガリレオ衛星や縞模様を観察できます。

秋の星座は西に大きく傾き、冬の主役の星々が夜空を飾ります。天頂付近にはすばる（プレヤデス星団）があり、肉眼や双眼鏡でも楽しめます。南東の空高く、オリオン座と冬の大三角が目立つので、星座をさがす起点としましょう。大三角を作る星のひとつおおいぬ座のシリウスは、全天でもっとも明るい恒星で、平均的な一等星の10倍も明るく輝きます。オリオン座の赤い一等星ベテルギウスは、超巨星として知られています。